

12月定例会の議案質疑等の内容

12月定例会（11月26日から12月19日まで開催）では、市長提出議案37件のほか、議員提出議案4件を審議しました。質疑の主な内容は下記のとおりです。

辺地に係る総合整備計画を定めることについて

趣旨

計画の期間が満了したことから新たに計画を策定し、辺地とその他の地域との間における格差是正を図るもの。

問 以前の計画から変更された事業はあるのか。

答 新たに市道、林道の整備を行うものではなく、地元から要望のあった事業を中心に辺地計画内の既設道路の法面や路肩の崩落対策、落石防止対策、舗装工事等を計画している。

職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

趣旨

市立病院の夜間医療に従事する看護師等の処遇改善を図るもの。

問 夜間医療等業務手当における金額は、他公立病院の手当を参考にしているのか。

答 県内他市の状況を踏まえたものになっている。6時間以上で7千500円、4時間から6時間未満が4千円、2時間から4時間未満が3千500円とした。

一般職職員の給与に関する条例の一部改正

趣旨

埼玉県人事委員会勧告に基づき、一般職職員の給与について改定を行うもの。

問 職員組合との交渉があったのか、また、その経過と結果については。

答 今回の給与改定については、11月20日、職員組合と交渉を行い、内容について説明をし、合意を得ている。

消防団員の定員、任免、給与、勤務等に関する条例の一部改正

趣旨

人口減少による消防団員の定員の見直し等、所要の改正を行うもの。

問 消防団の定員数の算定方法については、一般的に総務省消防庁による「消防力の整備指針」によると言われている。この指針によれば、消防団員の定数は、動力消防ポンプ自動車の数に従い算定される。

答 以前の指針は動力消防ポンプ等を算出の根拠にしていたが、平成26年に指針が改正され、人員の総数は業務を円滑に遂行するために、地域の実情に応じて必要な数とするに改められた。消防団員の減少に伴い、人口減少、高齢化、住民意識の変化等様々な要因を考慮し改正に至った。

問 現在の消防団員数と50人の定員削減による各小隊等の団員配置はどのようになるのか。

答 11月1日現在、1005人いる消防団員数で各部隊に配置をしているが、全体としては支障なく活動できていると考えられ、本改正では各小隊の団員配置人数を変更する予定はない。



地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例 会計年度任用職員の報酬等に関する条例

趣旨

地方公務員法および地方自治法の一部改正に伴い、会計年度任用職員に適用する規定の改正や、報酬等について規定するもの。

問 会計年度任用職員制度が開始されると、報酬が増加すると思われるが、人件費の増加は概ねどのくらいになるのか。

答 来年度の予算編成中で、雇用人数および雇用期間が未確定であるが、概算で平成30年度ベースで同人数、同時雇用を雇用すると仮定し、平成30年度決算額と比較した場合、令和2年度で5600万円程度、令和3年度で、1億3000万円程度の増額の見込み。

問 会計年度任用職員の実施は4月からということだが、任用に至るまでの今後のスケジュールは。

答 採用までのスケジュールは、4月採用の方については予定では1月頃からハローワークを通じて募集を始める。今回、制度が変わる関係で、



の様子（本庁舎4階）

現在勤めている方については勤務年数・期間に関わらず一旦は3月末で退職、改めて応募していただくことを考えている。また、現在お勤めの方には、強制ではないが12月中に昼夜含めて4回の制度の説明会を開催したため、勤務条件等よくご理解いただいた上で、希望のある方には応募していただきたい。

幼保連携型認定こども園 条例

趣旨

幼保連携型認定こども園である、吉田こども園の設置および入園資格等を規定するもの。

問 本条例の制定により変更される点は。

答 吉田幼稚園と吉田保育所が、吉田こども園に移行した場合、各認定区分により大きく変わるのとは定員である。3歳から5歳児のうち、現行幼稚園在籍児にあたる、1号認定の子どもは、3年齢の各10人で計30人に変更となる。現行の保育所在籍児にあたる、2号認定の子どもは3年齢で計33人から60人に変更となり、更に0歳児から1・2歳児の3号認定の子どもは、27人から42人に変更となる。これにより、低年齢児の受け入れが

増え、待機児童の解消になると考えている。

市立病院等の看護師を目指す看護学生に対する奨学金の貸付けに関する条例

趣旨

市立病院および大滝国民健康保険診療所の看護師を確保するため、看護学生に対する奨学金の貸付けについて規定するもの。

問 対象を市内の看護師養成施設に在学する者に限定した理由は。

答 看護学生向けの奨学金制度を創設するに至ったきっかけとして、令和元年10月1日付で秩父郡市医師会長、秩父看護専門学校長の連名によって奨学金制度の創設の要望書を受けた。秩父看護専門学校への受験者数の減少に歯止めをかけるべく、対象者を限定した。



12月定例会本会議

一般会計補正予算(第6回)

歳出

問 戸籍住民基本台帳費が今回の補正予算で総額1億6036万7千円となるが、充当する部署は。

答 市民課の業務を行なっている職員の人件費として計上している。

問 西学童保育室改修工事設計業務委託料210万円の内容は。

答 空調機、ロッカー、本棚などの設置のほか、学校との遮断シャッター設置、外玄関水道設備の改修などを予定。

問 準要保護生徒制服代にて増額補正が計上されており、想定より就学支援が必要な児童、生徒が多かったと思われるが、ここ数年の就学支援児童、生徒数はどのような傾向になっているのか。

答 該当児童生徒数の増加もあるが、支給額の単価を令和元年度から増額したことも要因。就学支援が必要な児童生

徒数は年々増加している。

問 図書館管理運営事業・修繕料として27万5千円が計上されているが、今回の修繕は台風19号等による突発的なものか。

答 今回の補正額は、台風19号の影響によるものではなく、消防法による法定点検を実施した際に、改善が必要とされる箇所が発見されたため、屋内消火栓設備等の修繕をするためのものである。

問 文化体育センター管理運営事業・トレーニング室モニターカメラ設置工事とあるが、当該施設に、モニターカメラを設置する理由は。

答 文化体育センターには現在トレーニング室が2室あり、通常、指導員が1人体制で運営を行なっている。今まで事故なく運営されてきたが、より安全面に配慮して指導員の目が行き届くよう、各部屋に2台のドーム型カメラと、1台のモニターを設置するものである。また、誰でも確認できるモニターのため、それぞれの部屋の空き状況などを利

用者が確認できる。

国民健康保険特別会計補正予算(第2回)

歳出

問 システム改修業務委託料478万5千円の増額について、この委託料の内容は。

答 システム改修業務は大きく分けて3つあり、被保険者証と70歳以上の方に発行している高齢受給者証を一体化するためのシステム改修、外国人被保険者の在留資格を有する者に関する事務手続きについて、効率的な資格管理が行えるようにコードを追加する改修、またマイナンバーを活用したオンライン資格確認等の実施に伴い、世帯単位である被保険者番号に加え、個人を識別する2桁の枝番を付与するための改修である。

用語解説

【会計年度任用職員制度】

地方公共団体に働く非常勤職員の適正な任用と勤務条件の確保を実現するため、令和2年4月から始まる制度。従来の非正規職員にはなかった期末手当の支給や人事評価の導入、再任用の際の昇給などが追加される。